

平成28年度

事業報告

社会福祉法人 射水万葉会

平成28年度の主な事業報告

社会福祉法人 射水万葉会

I 法人の理念

私たちは、法人の経営理念である「底なしの親切」と「よろこび」の実現に向け、法人30年超の歩みを継承し更なる発展を使命とし、「地域福祉への貢献」に積極的に取り組み、福祉サービスの理想の姿を追求しつつ社会福祉への貢献をめざします。

II 法人の運営方針

高齢化が急速に進む今日、老人福祉施策はめまぐるしく変容しています。「尊厳を支えるケア」と「自立」をめざして、生活の継続性を維持するための地域包括ケアシステムや、認知症高齢者に対するケアなどの施策が積極的に進められています。

「寝たきり」や「認知症」高齢者の介護を中心とする特別養護老人ホームなどの施設・居宅系サービスは、利用者の重度化・独居化・貧困化やターミナルケアの視点から、その機能と役割が一段と重要になっています。

一方、住み慣れた生活圏域での安心で切れ目のないサービス提供で在宅での生活が継続できるように支援する、地域密着型サービスや在宅介護サービスの更なる整備が強く求められています。

このように、2025年の超高齢化社会に向けて、施設サービス、在宅サービス、保育サービスが一体となり「総合福祉拠点」の整備を積極的に進めていかなければなりません。

今、私たちは、更なる少子高齢社会に向けて法人が運営する介護サービス、保育サービスが一体となって「総合福祉拠点」としての役割を担っていかなければなりません。

そのために

- (1) 将来にわたって、質の高い福祉サービスを継続的に提供していくことができる体制を整え、職員の資質のなお一層の向上
- (2) 地域の拠点施設としての地域への貢献

(3) 在宅を支えるサポート体制の整備による地域包括ケアシステムの構築

に取り組み、福祉サービスのプロフェッショナルとしての自覚と責任を持ち、社会や地域に貢献し、その誰もが安心して暮らすことができる明るい未来に向けて法人の機能と役割を十分に発揮して、「底なしの親切」と「よろこび」の社会の実現をめざしていきます。

Ⅲ 法人の概要

当法人は、昭和57年9月に地域の高齢者福祉の充実を目的に特別養護老人ホームの設立運営からはじまり、特別養護老人ホーム3施設、軽費老人ホーム（ケアハウス）1施設と入居施設の整備を行なうとともに、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、認知症対応型通所介護、夜間対応型訪問介護を複合的に整備した、地域密着型「サポートセンター」3箇所を開設し、また平成19年にはコムスンからの事業承継で、在宅介護事業部「よろこび」をスタートし、在宅介護サービス事業も幅広く行なっています。

平成17年には配食サービス事業を始め、福祉用具貸与・販売事業、居宅介護支援事業、地域包括支援センターの受託運営などの公益事業にも取りくみ、地域の方がたのニーズに応じた適切な介護サービスを提供できる体制とし、地域の方がたが住み慣れた地域でより長く自立した生活が送れることをめざして事業運営をおこなっています。

平成24年4月からは、天正寺サポートセンターで、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスに富山県内では初めて取り組み、同年11月には、東京都足立区で「ヘルパーステーション万葉」を開設し、現在、富山市で3か所、射水市で1か所、高岡市で1か所、足立区で1か所の合せて6か所の事業所にて、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを行っています。

平成26年6月には、東京都足立区において、当法人の特別養護老人ホームとして3か所目となる「特別養護老人ホーム足立万葉苑」を開設しました。

また4つの保育園（総定員700名）を設置運営しており、子育て支援事業や病児障害児保育などの特別保育や、放課後児童健全育成事業（学童保育）にも積極的に取り組み、地域の児童福祉の充実をめざしています。

IV 平成28年度 事業報告

法人の理念と運営方針にもとづき以下の事業を行いました。

1、標準化された専門性の高いサービスの提供

- ① 「おむつゼロ」などの科学的介護による自立支援や在宅復帰に挑む施設をめざしました。
- ② 認知症ケア、医療ケア、看取り、口腔ケア、介護予防へ積極的に取り組みました。

2、地域包括ケアシステムを支える地域密着型サービスの提供

- ① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護をはじめ、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスや訪問介護、配食サービス事業の拡充を行いました。
- ② 居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを充実して、「認知症サポーター養成講座・中央サロン・南部サロン」などの地域に根差した新しいサービスに積極的に取り組みました。

3、保育サービスの充実

- ① 「子ども子育て支援新制度」が施行され制度は変わりましたが、子どもの最善の利益を考えて保育を行い、保護者にも混乱なく受け入れてもらえました。
- ② 子育て支援拠点やASUKA学級などの「地域子ども・子育て支援事業」を充実し、時代の要請と地域のニーズに応えられるように保育の充実に努めました。

4、施設、在宅、保育の連携によるサービスの複合化

- ① 法人内施設の連携を強化して、切れ目のないサービスの提供に努めました。
- ② 職員の資質の向上と多様な専門職群の連携により、サービスの質の向上に努めました。

5、人材育成と雇用の安定

- ① 魅力ある職場づくりと職員の地位の向上をめざし、人事考課制度、エルダー制度を活かして職員の意欲向上と処遇改善をはかりました。
- ② 介護職員初任者研修講座を継続し、社会福祉事業に従事する人材の育成をはかりました。

6、地域社会との連携

- ① 施設機能を地域の社会的資源として開放、地域社会の身近なパートナー、コーディネーターを目指しました。
- ② 実習生、研修生、ボランティアを積極的に受け入れ、福祉教育の推進に努めました。

7、業務管理体制の整備

- ① 法人の行動規範にもとづき、法令遵守（コンプライアンス）を強化しました。
- ② 福祉の専門家として自己研鑽に励み、職業倫理および技能の向上に努めました。
- ③ 会計の適正な執行に努め、情報公開を進めました。

射水万葉会には、30年にわたり培ってきた伝統があり、底力があります。様々な職員が、様々なサービスに取り組み、互いに立てあい助け合って、これからも社会福祉への貢献をめざしてまいります。

V 各事業所の概況

各事業所においては下記の通り、概ね計画通りに順調に推移し、重大な事故や災害もなく、無事に終了したことをご報告いたします。

【法人本部】

安定した経営基盤の確立をめざし体制の強化・連携を行い、業務管理体制の充実と人材確保・適正な人員配置をめざし、社会福祉法人としての行動規範を明確化するとともに、各事業所が価値あるサービス提供ができるように支援し、法人経営の安定をはかってきました。

人事部門では、職員数は平成 28 年 4 月 1 日現在 881 名で、年間 39 名の正職員を採用しました。

研修部門では、介護職員初任者研修を開催し 8 名の受講者があり内 3 名を、研修終了後職員として採用し、職員全体研修会を高周波文化ホールで年 9 回開催し、また施設外研修にはのべ 2,541 名の職員が参加し資質の向上をめざしました。

財務部門では、29 年度より会計基準の新設により会計監査を導入する事となり法人のより一層の透明化を図るべく、準備を進めて参りました。

介護職員処遇改善加算の新設への準備を行いキャリアパスの見直しを行うなど、今後とも「苑の下の力持ち」として法人全体をバックアップして任務を遂行していきます。

【特別養護老人ホーム射水万葉苑】

特養長期入所利用者は、延べ 39,364 名、稼働率 98.0%、ショートステイ利用者は 1 日平均 31.8 名、デイサービスは 1 日 38.4 名です。

入所者の平均介護度は 4.2、平均年齢は 87.2 歳で介護度 4、5 の方中心の入所となり、在所期間は 3 年 4 か月と昨年より更に短くなり、38 名の方が退所され 18 名の方の看取りを行い入所者の重度化が進んでいることが在所期間や退所者数の数字に如実に表れています。

その中でも介護力向上に引続き取組み、28 年度は「オムツゼロ」を達成しました。

また、953 名のボランティアの方がたにご協力をいただき、193 名の実習生を受け入れました。

居宅介護支援事業所では、年間 1,941 件のケアプランを作成しうち介護

度3～5の割合が51.1%です。

地域包括支援センターでは、介護予防プランを2,460件作成し、地域支援事業の運動器機能向上や認知症予防教室等を年間29回開催しました。地域包括ケアシステムに向けて、地域包括支援センターの役割がますます重要になっています。

重度で高齢な入所者が増加するなかで、看取り介護対応をしっかりと行い、又、地域との連携強化で、地域の中の施設としての運営を図っていきます。

【ケアハウス万葉】

28年度の延べ利用者人数は778人 稼働率は92.6% 男性平均年齢79.8歳 女性82.6歳 平均81.8歳となり高齢化が進みADLの低下、認知症の方が増えているのが現状です。

28年度新規入所者14名 退所者14名で新規入所者も高齢の人が多くなっており、退所者の原因も入院の為、ケアハウスでの生活が維持できなくなり退所される方が多くなり、実際にケアハウスで生活されている内訳は自立者402名 月平均47.8名47.8%になっており年々減っています。

その他、要支援1～介護4までの利用率は44.3%と増加傾向になり、ゲスト利用者の年齢も高くなっており24件の利用、28名がゲストとして体験されました。

内訳は男性8名 女性20名の利用があり、その中でも困難事例の件数が多くなっています。

今後、少しでもケアハウスでの生活を維持できるよう入所者家族との連携を密にして対応します。

【特別養護老人ホーム二上万葉苑】

特養長期入所利用者は、延べ27,764名、稼働率94.8%、ショートステイ利用者は1日平均18.4名、デイサービスは1日46.3名です。

入所者の平均介護度は3.87と前年度より介護度は下がっていますが平均年齢は86.1歳で重度化が進み在所期間は4年と長くなり、20名の方が退所され6名の方の看取りを行いました。

介護力向上をめざし、引き続き「オムツゼロ」に取り組んでまいります。

守山・二上・能町地区の高齢化率は平成28年12月末現在で30.8%です。居宅介護支援事業所では、年間2,416件のケアプランを作成し、うち（要支援を除く）要介護では介護度3～5の割合が27.0%です。

地域包括支援センターでは、介護予防プランを年間 1,400 件作成。

218 名のボランティアの方々にご協力をいただき、110 名の実習生を受けました。高岡市では平成 29 年度から介護予防・日常生活支援総合事業が開始になります。

これからも住み慣れた地域で安心して生活できるように専門職が力を合わせ支援していきます

【特別養護老人ホーム足立万葉苑】

特養長期入所利用者は、延べ 32,701 名、稼働率 89.5%、ショートステイ利用者は 1 日平均 7.5 名、デイサービスは 1 日 7.6 名です。入所者の平均介護度は 3.9、平均年齢は 87.3 歳で平均在所期間は 1 年 8 か月で今年度は 26 名の方が退所され 9 名の看取りを行いました。

職員不足から 9 ユニットで運営してきたが、11 月に最後のユニットをオープンすることができ、3 名の受け入れ体制となっている為、フル稼働することが火急の課題です。

ボランティアとして 71 名の方々にご協力いただき、ただただ感謝であるが、今後は様々な企画をし、さらに地域との交流を深めて行きたい。

開設して 4 年目を迎え、今以上に運営体制を効率化し、地域に貢献できる施設づくりを進めていきます。

【ヘルパーステーション万葉（足立）】

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスのご利用者数は、3 月 31 日現在で 11 名（男性 0 名、女性 11 名）です。ご利用者の平均年齢は 84.5 歳、平均要介護度は 3.6 となっております。

平成 28 年度通期では、延利用日数は 4,025 人、延訪問回数は 13,995 回、内定期訪問が 13,532 回、随時訪問が 463 回となっています一日当たりの平均で見ると、利用者数 11.02 人、訪問回数 38.3 回、内定期訪問が 37.0 回、随時訪問が 1.3 回となっています。これからも地域包括ケアシステムの中核を担う事業として地域の在宅で暮らす要介護高齢者の生活を支えるため努力していきます。

【本町サポートセンター】

グループホームは、平均介護度 2.5、平均年齢 88.7 歳の 9 名の利用者が生活しており地域の銭湯に出かけたり、買い物や散歩に行ったりと利用者の願いを少しでもかなえられるようにサービス提供しています。

待機者は常に 8 名程度で、退所者が出てもすぐに入所希望があります。小規模多機能居宅介護は平成 28 年 6 月から定員が 29 名となり平均介護度は 1.9、利用者の住み慣れた地域で長く生活できるようにという願いをかなえる為に月 300 件以上の訪問をし、また通いと泊りを組み合わせて地域生活を支えています。

認知デイサービスは、定員が 12 名で、1 日平均 8.9 名の利用者が通われ平均介護度、平均年齢ともに高くなり、入院や退所される方も増えてきています。

居宅介護支援事業所では、119 件のケアプランの作成し、利用者がその人らしく地域生活が継続できるように支援しています。

本町サポートセンターでは、地域とのつながりを大切にし、地域の行事等にも積極的に参加しています。これからも、地域に根ざした施設運営に取り組んでいきたいと思っております。

【福祉プラザ七美】

グループホーム入所利用者は延べ 3,273 名、稼働率 99.5%でした。要介護 3～5 の方の割合が 77.8%、平均年齢は 88.1 歳です。

小規模多機能型居宅介護は 1 日平均 12.3 名の利用で登録者数の充足率は 81%で全国平均の 74.6%を上回り、1 年間で 3 名の新規登録あり 9 名退所され理由として特養入所 4 名長期入院 5 名でした。

認知症デイサービスは 1 日平均 6.8 名、介護予防デイサービスは 1 日平均 16.3 名でした。

定期巡回、随時対応型砲も介護、夜間対応型穂門介護においては定時訪問利用 1 日平均 68.8 名で、昨年度より 1.8 倍の増加となりました。

運営推進会議はグループホーム、小規模多機能は年 6 回、認知症対応型デイサービスは年 2 回、定期巡回の医療連携会議は年 4 回すべて予定通り開催いたしました。

居宅介護支援事業所では、年間 1,254 件のケアプランと、292 件の介護予防ケアプランを作成いたしました。

訪問介護事業では、予防介護が 22%・身体介護が 44.2%・身体生活が 15.2%・生活援助が 18.6%の割合でした。

様々な事業所を持つ複合施設として地域の皆さんに親しみやすい施設づくりを目指しております。

【天正寺サポートセンター】

認知症対応型共同生活介護事業所は、実利用数 109 名、延利用数 3,283 名で平均介護度 2.25。

小規模多機能型居宅介護事業所は、実利用者 298 名、延利用者 6,451 名で平均介護度 2.13。

認知症対応通所介護事業所は、実利用者は 199 名、延利用数 1,993 名で平均介護度は 2.4。

夜間対応型訪問介護事業は、実利用数 235 名、定時訪問利用回数 30 回、随時訪問利用者数 20 回で平均介護度は 3.19。

訪問介護事業は、実利用数 91 名、定時訪問利用回数 748 回、随時訪問利用者数 63 回で平均介護度は 2.83。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業は、実利用者数は 306 名、定時訪問利用者回数 26,128 回、随時訪問利用者数 298 名です。

居宅介護支援事業所は、1,275 件のケアプランを作成し、予防プランは 87 件、配食サービスは、朝食 1,755 食、昼食 5,039 食、夕食 10,378 食、職員研修は年間 27 名の参加です。

地域密着型サービス事業所としての存在意義と役割を自覚するとともに利用者、家族、地域に貢献し地域福祉の向上・発展に取り組んでいきます。

【よろこび訪問介護事業部】

訪問介護のよろこびは県内に 5 か所の訪問介護事業所があります。

要支援 1 から要介護 5 までの方に交じり、障がい者の方への支援もあり、全センターでトータル年間延べ 7 万回ほどの訪問をしてきました。

訪問介護・障がい者自立・総合支援事業・保険外サービスなど多岐にわたり、支援の仕方に柔軟に対応できるよう、センターや職員の質の上がる研修を行ってきました。

職員の研修への意識調査をしたところ、特に認知症の方への対応の在り方を学びたいという意見が多くみられ具体的な事例を交えながら研修に取り組み、実際の現場に生かしていきます。

【富山中央サポートセンター】

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスのご利用者数は、3月31日現在で23名（男性11名、女性12名）平均年齢は80.7歳、平均要介護度は2.4となっており、要介護度の低い認知症の方の利用も多くなってきました。

平成28年度通期では、延訪問回数は14,971回、そのうち随時訪問が186回でした。コンパクトシティを目指す富山市中心部に位置する事業所として、利用促進を図り在宅生活の限界点を高めるべく、看護・医療との連携、1人1人のレベルアップのための事業所内研修に本年度も取り組んでまいります。

【のむらサポートセンター】

定期巡回随時対応型訪問介護看護の利用者数は、1年間延べ人数291名、ひと月の利用者数は平均21名、稼働率95%です。昨年9月からひと月の利用者数は、23～4名になっています。

サージュ外が6割、サージュ内が4割と地域にお住いの利用者様からの依頼も増え提供するサービスも様々になりました。

のむらサポートセンター居宅介護支援事業所では3月末の利用者数は、支援も含め計64名。

サージュのむら生活支援員としては29年3月末現在、空き室は一人部屋5室、利用者数は17名です。

生活上の相談への助言、安否の確認を行い、空き状況や見学者への対応など、管理会社と情報を共有していきます。

スタッフ一人一人がレベルアップを図り、誰が対応しても同一のサービスが提供できるように、しっかり研修等行っていき、このサービスがさらに広く浸透するよう、高岡市内の居宅や病院などを訪問していきます。

【みずほサポートセンター】

居宅介護支援事業所は、他事業所への担当変更があり平成29年3月に登録者数26件の内、給付管理数24件でした。

デイサービスは平成28年4月から地域密着型のデイサービスとなり定員10名で年間延べ1816名の利用がありました。平成29年3月の稼働率は80%です。

併設しているサージュからの利用が多いですが外部からの利用も少しずつ増えてきました。「ここへ来ると楽しいと」言ってくださる方がおられますが、そのように言ってくださる方を増やしていきます。

定期巡回随時対応型訪問介護看護は、年間延べ 6469 名の方に利用していただきました。利用は増えてきていますが、定期巡回への知名度はまだまだ低いと感じており、周知に努めてまいります。

【配食サービス事業】

地域貢献として射水万葉苑、ケアハウス万葉、二上万葉苑、本町サポートセンター、天正寺サポートセンターの各施設で行っています。朝食 1,755 食、昼食 27,842 食、夕食 51,007 食 合計で 80,604 食の提供を行いました。高齢者が適切に食事をとることは、生活の基であり介護予防にも欠かせないことです。

さらに手渡しで行う事を徹底する事で見守りとしての機能を併せ持ち、地域包括ケアシステムの一つとしてなくてはならないサービスです。また、法人が有する厨房施設を配食サービスに利用することは、社会資源の有効活用とも考えています。

【福祉用具貸与事業】

福祉用具貸与・販売をあわせてのべ 3,779 名の方にご利用いただいています。

在宅での介護には不可欠なサービスであり、また高齢化社会の課題の一つである自助・自立の為にも効果的な商品の提供をしてまいります。

【保育所事業】

保育園全体では、28年度3月末現在で入所児童総数721名延べ8,419名の保育を行いました。今年度は、各園延長保育と休日保育の利用希望者が比較的少なく子ども達にとっては、家庭で過ごす時間がゆったり取れているのではないかと思われました。

そして、法人立として大島つばさ保育園を筆頭に約10年余りの経験を有する保育園及び保育士として、地域に根ざし信頼される子育ての拠点になるよう努めてきました。

29年度には、幼保連携型認定こども園として海老江こども園が誕生します。より利用しやすいこども園としてしっかり受け止め、職員全員で学ぶ機会としていきたいと思っています。

【大島つばさ保育園】

3月現在176名の園児数で、年間延べ2,075名の保育を行いました。

病児保育を実施し、体調不良児対応型240名の保育と、障害児保育で3名の園児を受け入れました。

特に障害児保育を行うことにより、子ども一人一人のとらえ方について研鑽する機会を多く持つことができました。保護者の要望も多様化する中、今後も保護者の方と連携をとりながら、理念に沿った保育を進められるよう努めてまいります。

【新湊中部保育園】

平成28年度は3月末136名保育を行いました。

特別保育事業の実施では特に休日保育は年間315名と多くの利用があり地域性が見られました。また、子育てサークル「アンパンマンサークル」の実施や父親の育児参加を目指して立ち上げた「おやじいの会」では、子ども達のために父親ならではの活動を企画し、毎回多くの参加をいただいております。環境整備では、未満児用遊具の新設とリニューアルをしていただき、より楽しく安全に遊べる環境が整いました。

これからも保護者や、地域から信頼される保育園としてさらに専門性を発揮できる様、園内研修等を通して自己研鑽を重ねながら、子どもたちの保育と保護者支援に努めてまいります。

【海老江保育園】

3月現在141名の園児数で、年間延べ1,657名の保育を行い、病児保育（体調不良児対応型）130名と障害児保育で2名の園児を受け入れました。

保育参加や行事などを通して子どもの心に寄り添った保育とは、養護と教育が一体となった保育とは何かを考えながら保育し、保護者や地域の方からの理解と信頼を得るよう努めてまいりました。

また、認定こども園に移行するにあたり、保護者への説明会を行い、理解と協力を得ることができました。しかし、制度の理解や運営、保育内容など職員への周知や研修が必要と思われます。今後もより一層研鑽を積み、資質の向上に努めたいと思います。

【射水おおぞら保育園】

入所児童269名延べ3109名の乳幼児を保育しました。

保育園周辺環境として、若い世帯が増えてきています。子育て支援センター利用児童数も延べ5465名と昨年度からみると500名近く増加しました。

歩いて気軽に利用できるセンターとして利点を生かし取り組んできました。また、園内研修では、職員自身が主体性をもって取り組んだことが一層の学びを深めることができました。

【ASUKA 学級】

「放課後児童支援員認定資格研修会」を徐々に受講し、より専門的知識のもとで学級の展開が見られるようになっていきます。今年度も100名以上の入級児童の子ども達と保育園児との交流や地域の方々との触れ合いや楽しい行事を増やし、地域に愛される学級運営を果たしてきました。

【万葉クリニック】

週3日の変則診療となっています。

ケアハウス万葉及び福祉プラザ七美との連携をはかり、のべ1,757名の診療を行いました。